

あいさつ 校長 篠田 かなえ

本校では、子供たちが将来社会に出て自己実現できるようになってほしいという思いを込めて、「夢は大きく 志は高く 実践的に取り組むことができる玉中生」を学校教育目標とし、生徒の「生きる力」の育成に取り組んでいきます。

玉井中学校が、職員・生徒にとって自信と誇りのもてる学校、また、保護者や地域の方から信頼・応援される学校となるよう、全教職員一丸となって頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

学校沿革の概要

昭和	22. 4. 1	初代 篠沢貞一 校長着任
	29. 4. 1	2代 内田忠恕 校長着任
	31. 2. 4	「産業教育」研究指定（文部省）
	37. 4. 1	3代 太田泰治 校長着任
	37. 5. 22	「学校管理」研究指定（県教委）
	37. 11. 3	「校歌」制定
	41. 2. 26	学校給食優良校表彰（県教委）
	41. 4. 1	4代 松崎喜治 校長着任
	45. 9. 7	プール竣工
	46. 4. 1	5代 渡辺洵一郎 校長着任
平成	49. 4. 1	6代 小林忠勝 校長着任
	51. 4. 1	7代 持田包雄 校長着任
	54. 1. 31	本校舎竣工
	55. 4. 1	8代 宇野 章 校長着任
	57. 4. 1	9代 高宮 哲 校長着任
	60. 4. 1	10代 渡辺利夫 校長着任
	61. 8. 19	校地拡張校庭整地工事完成
	1. 4. 1	11代 下山二男 校長着任
	3. 5. 21	新体育館竣工
	3. 4. 1	12代 清水信二 校長着任
令和	6. 4. 1	13代 篠沢明雄 校長着任
	8. 4. 1	14代 新井恒夫 校長着任
	8. 5. 30	新特別教室棟竣工
	8. 11. 2	開校50周年記念式典
	11. 4. 1	15代 能見忠久 校長着任
	14. 4. 1	2学期制導入
	16. 4. 1	16代 田嶋 章 校長着任
	17. 11. 9	「心に響く道徳教育推進校」研究発表（県教委）
	18. 4. 1	17代 清水幸三郎 校長着任
	18. 6. 26	全教室扇風機設置
令和	19. 4. 6	ほほえみ相談員配置
	24. 4. 1	18代 長谷川雄一 校長着任
	24. 8. 30	全教室エアコン設置
	25. 3. 12	全国修学旅行研究協会第12回修学旅行HPコンクール優秀賞受賞
	26. 4. 1	19代 瀧口裕史 校長着任
	28. 10. 29	開校70周年記念事業「若木祭」
	30. 4. 1	20代 沼尻慎一 校長着任
	3. 3. 31	各クラスに大型提示装置・実物投影機・PCの設置 GIGAスクール構想1人1台端末導入
	3. 4. 1	21代 今村美己 校長着任
	3. 11. 12	トイレ改修
令和	4. 1. 19	体育館放送器具交換
	4. 1. 28	管理教室棟屋上防水施工
	4. 6. 29	体育館バスケットゴール自動化
	4. 9. 30	校舎内照明LED化
	5. 2. 20	体育館2階カーテン新調
	5. 4. 28	プール解体
	6. 3. 1	体育館2階床改修
	7. 4. 1	22代 篠田かなえ 校長着任



「家庭の教え（芽）」
「学校の教え（花）」
「世間の教え（実）」

生徒指導心得

- ◎是々非々
「すずめの学校」と
「めだかの学校」を
バランスよく！
- 徹底してかまう
【健全育成の基本】
 - いざというときに
全員で動く
【チーム玉井】
 - 一秒でも早く
プロの手に
【関係機関との連携】
 - 報 告、連絡、相談と
見届け、の徹底

経営方針

- わかる授業を推進し、
学力日本一を目指します
- 体験活動を充実させ、
心身ともにたくましく
豊かな心を育成します
- 家庭や地域との連携を
密にし、信頼される
学校を目指します
- 子供の心に寄り添い、
子供の声に耳を傾け、
安心して学べる学校を
目指します
- あいさつにあふれ、
創意と工夫に満ちた、
明るく元気な活力のある
学校を目指します

学校教育関係者

熊谷市長	小林 哲也	学校医(産婦人科)	中山 政美	篠塚 正行
教育長	渋谷 昌美	学校医(歯科)	小沼 孝行	タハリ 優佳理
委員(教育長職務代理者)	小林 敏宏	学校薬剤師	深澤 宏和	森田 廣次
委員	加藤 道子		須藤 一郎	高橋 伸子
委員	大石 聡一		西 博美	筒井 雅人
委員	浅尾 景子		田部井 公義	木村 明人
学校医	木原 敏恵	学校運営協議委員	大島 直美	新井 慶一
学校医(耳鼻科)	荻野 智		森田 俊和	下妻 淳志
学校医(眼科)	萩原 直也		内田 功	福島 宏之
学校医(特別支援)	佐藤 祐一		坂田 孝純	PTA本部役員代表 田部井 公義

学 校 教 育 目 標

夢は大きく 志は高く 実践的に取り組むことができる 玉中生

☆新熊谷プロジェクトで学力日本一を目指します！ ☆自ら動く！

自ら学ぶ生徒	自他ともに尊重できる生徒	心身ともに健康な生徒
「新熊谷プロジェクト」 ・総合的な学習の時間【若木タイム】の充実 ・教科横断的・オセティックな授業の展開 ・教科補充学習で基礎基本の修得 (国語、数学、英語) 「アド・システム」の考え方（かまう）」を取り入れ 言語活動を重視した授業の実践 - わかる授業に向け「学びの環境」の整備 ・一人一台のタブレット端末を効果的に活用 ・板書とICT機器の併用 ・学習内容の明確化、課題・ねらいの提示、 まとめと振り返りの時間確保 ・アクティビティを全学年、全教科で実施 - 進路・キャリア教育の充実 ・将来への見通しを持った進路・キャリア教育 充実 - くまびスクールの実施（20回）	- 生徒会歌「若人よ」（一人じゃない!）の精神 をすべての教育活動の場で徹底 ・いじめ撲滅宣言の実施・徹底 道徳・学活・人権集会を実施 - 道徳の授業を全校同一時間で実施 ・考え、議論する道徳授業の実施 ・生命（いのち）の授業、性教育講座、情報モラ ル教室を実施 ・インクルーシブ教育の視点を立ち、共に学び合える教 育活動を実践（スーパーチャレンジ化と合理的配慮） ※実生活における道徳の「見える化」を図る - 学校行事や体験活動における「自ら動く」の実践 と自己有用感と自己指導能力の向上	- 玉井中「4つの実践」と「3減運動」の推進 ・HQCシートを年3回実施 ・朝ごはんをしっかりと食べる（100%） ・「4つの実践」ありがとう、ごめんなさい、 が言える生徒（100%） ・スマホ使い宣言、玉井中タブレット使用12の 約束 ・心のアンケート調査毎月1回実施 - 重点項目を意識した新体力テストの実施 (年間2回) ・県平均値以上（80%） ※重点項目は、握力・持久走・50m走 - 凡事徹底の実践 ・当たり前のことを当たり前にできるよう根気 よい指導、見届け、称賛 - 小中学校の連携を図った中1ギャップの解消 ・3校合同あいさつ運動（年2回） ・小学校の授業参観（年1回） ・公開授業（小学校教諭向け、年2回） ・小学校との情報共有（月1回）



学校研究主題 「主体的に学習に取り組む態度」を高め、実践的・意欲的に取り組むことができる生徒の育成

～非認知能力（自己肯定感・レジリエンス）の向上を通して～



在籍生徒数

《令和7年5月1日現在》

学年	男	女	計	学級数	特別支援学級				合計
					男	女	計	学級数	
1年	65	52	117	4	0	3	3		120
2年	47	58	105	4	2	1	3		108
3年	65	60	125	4	0	0	0		125
合計	177	170	347	12	2	4	6	2	353

部活動

部名	担当者	部名	担当者
野 球	富田・鈴木	卓球(男)	多胡・大山
サッカー	河野・鶴田	卓球(女)	小暮優・杉山
ソフトテニス(男)	三村・長谷部	剣道	小暮敏・栗原・関川
ソフトテニス(女)	中島・長谷部	創総 作 合	美術 須永
バレー(女)	嘉指・森川	パソコン	西澤
バスケ(男)	林・入船	吹奏楽	内田・山崎
バスケ(女)	五十嵐・田口		